

環境にやさしい取組みで イベントのイメージアップ

イベントは、多くの人が集まり多くの物が消費され、地域が活性化されます。一方で、一度に多くのごみが発生し、環境に負荷がかかっていることにも留意が必要です。

ごみの減量に取り組むなど、環境への配慮を積極的にPRすることは、イベントのイメージアップにつながります。ぜひ、できることから取り組んでみましょう！

参加者（来場者）に協力を呼びかけ

●事前にごみを持ち帰ってもらうよう案内し、協力を呼びかけましょう

・あえてごみ箱を設置しないのも有効です

●マイバッグやマイボトルの持参を呼びかけましょう

・あらかじめ袋が必要なことがわかっている場合には、事前にマイバッグの持参を呼びかけましょう

・例えば、マイバッグ・マイボトル持参者や包装辞退者へスタンプラリーのポイントを付与するなど動機付けになります

●環境にやさしい交通手段を呼びかけましょう（公共交通機関、自転車、徒歩など）



イベント運営者・スタッフがごみを出さないように工夫

●スタッフの弁当を使い捨て容器ではない弁当箱にするなど、工夫してみましょう

「ごみ箱」ではなく、「分別ステーション」を設置

●ごみ箱を設置する場合は、スタッフが常駐する「分別ステーション」を設置して、分別の呼びかけやアドバイスをしてみましょう

＜分別ステーションの例＞



リユース食器の活用

●飲食品を提供する場合は、使い捨て容器ではなく、洗って繰り返し使える食器の使用を検討してみましょう

リユース食器とは？

使い捨てのお皿やコップ、割りばしの代わりに、何度も繰り返し洗って使える食器のことです。



※リユース食器導入をご検討の方は、以下をご参照ください。

・「NPO法人 みどりの市民」
長野市内の団体で、リユース食器のレンタルのコーディネートをしています。〔電話：026-235-5113〕

・「リユース食器ネットワーク」
リユース食器を取扱う団体や活用事例等の情報が掲載されています。

リユース食器ネットワーク [検索](#)

お問合せ先

長野市環境部生活環境課
Tel: 026-224-5035